

第31回

美浜・五木ひろしふるさとマラソン開催



5月12日に、第31回美浜・五木ひろしふるさとマラソンが、丹生から菅浜までの海岸線コースで開催されました。

今大会では、20 kmの部を廃止し、ウォーキングの部を新設しました。大会には、北は北海道、南は九州まで、全国各地から3,042人のランナー、ウォーカーが参加しました。

午前9時から始まった開会式では、スケジュールの都合でご参加いただけなかった五木ひろしさんから届いた応援メッセージが上映されたほか、来賓の方々から参加者に激励の言葉が贈られました。

また、表彰式終了後には、ゲストの錦野旦さん、有森裕子さんによるミニトークショーも開催され、お二人の軽快なトークに会場は笑いに包まれていました。

当日は晴天に恵まれ、参加者たちは潮風を肌で感じながら、風光明媚な海岸線コースで健脚を競ったり、景色を眺めながらウォーキングを楽しんだりしていました。



↑会場を盛り上げた錦野さんと有森さんの軽快なトーク



↑目立った格好で会場を沸かせたランナー



↑給水所で参加者と交流する錦野さん



↑選手宣誓を行う林さん親子



↑見事1位でフィニッシュ！



↑一斉にスタートするランナーの皆さん



↑海岸線を快走するランナーの皆さん

ボランティアの皆さんありがとうございました

美浜・五木ひろしふるさとマラソンは、町内の区や団体、事業所等を中心とした、総勢約600人のボランティアスタッフによって運営されています。

今回も、大会会場をはじめ、救護所や給水所、駐車場、コース等、それぞれの持ち場で、さまざまな業務を行っていただきました。

早朝よりご協力いただきました皆さん、本当にありがとうございました。



Tシャツ配布



駐車場



表彰式補助



消防団、防犯隊による会場警備



給水所



救護所



荷物預かり



選手受付



チップ回収

スタッフインタビュー



竹波給水所
北田区の皆さん
(左から) 森下喜嗣さん、高橋秀一さん、鳥井國夫さん、吉田寛司さん

今回は天気も良く、給水係に参加することができて良かったです。
復路では、一生懸命走るランナーの人が自分たちの出す水を飲んで、また頑張って走る姿に感動しました。



丹生特設会場ゴール係
ジュニアリーダーズクラブの皆さん
(左から) 林祐子さん、山口結女さん、田辺れあさん

今大会では、JRCのみんなで色々な係を分担しました。
普段マラソン大会等に参加しないので、改めて選手や裏方の皆さんの大変さが分かりました。



PRセンター救護所
若狭医療福祉専門学校の皆さん
(左から) 森下いのりさん、岩崎日富さん

初めてボランティアに参加しました。
大きなけがや事故もなく無事終わることができて良かったです。
頑張って走っている選手を応援したり、普段あまりすることのない貴重な経験になりました。

ウォーキングの部を新設

今年度の美浜・五木ひろしふるさとマラソンでは、20kmの部を廃止し、ウォーキングの部を新設しました。

新たな部門を作るきっかけとなったのは、五木ひろしさんの参加者の皆さんへの思いでした。ランナーとして参加される方はもちろん、高齢の方や運動が得意でない方等にも、気軽に参加して交流を深めながらイベントを満喫してほしいという思いを受け、実行委員会が検討を進めて開催に至りました。

当日、ウォーキングの部に参加された皆さんは五月晴れ(五木晴れ)の空の下、周囲の人と楽しそうにコミュニケーションをとりながら汗を流していました。



初開催のウォーキングの部に夫婦で参加した
中尾良昭さん、淳子さん
(兵庫県)

偶然ネットで見かけて、参加を決めました。
海が近いので、磯の香りを感じながら気持ちよく歩きました。来年もぜひ参加したいと思います。



潮風を感じながらウォーキングを楽しむ参加者



いざスタート!

記録(敬称略)

部門	出走者数(人)	優勝者	タイム(分・秒)
10km29歳以下男子	233	村山 悠斗 (愛知県)	32:21
10km30歳代男子	160	網谷 敏宏 (美浜町)	34:01
10km40歳以上男子	691	日比 健一 (愛知県)	36:50
10km39歳以下女子	36	河村奈津紀 (愛知県)	40:08
10km40歳以上女子	92	金森 淑子 (岐阜県)	43:58
5km29歳以下男子	179	岡山 大介 (愛知県)	16:17
5km30歳代男子	159	伊東 和哉 (愛知県)	17:41
5km40歳以上男子	460	馬淵 直也 (岐阜県)	17:12
5km39歳以下女子	59	馬淵 裕子 (岐阜県)	18:50

部門	出走者数(人)	優勝者	タイム(分・秒)
5km40歳以上女子	77	山田ゆき江 (愛知県)	21:40
3km50歳以上男子	169	ムニツキ ジョヴァンニ (美浜町)	10:34
3km一般女子	90	浜頭 佳子 (小浜市)	13:40
3km中学生男子	14	雨澤 優太 (三重県)	10:00
3km中学生女子	13	山本あやか (和歌山県)	12:42
1.5km小学生男子	24	小林 漣 (敦賀市)	5:11
1.5km小学生女子	28	吉澤真結子 (敦賀市)	6:12
1.5km親子	294	計測無し	
ウォーキング	264	計測無し	

参加者インタビュー



第1回から毎年来ています!
左・橋本久美子さん (東京都)
右・中村 絹江さん

五木さんの「ええとこやろ美浜」の言葉のとおり、海が近くて民宿の料理がとてもおいしいので、毎年訪れるのを楽しみにしています。
近年は完走が難しかったのですが、ウォーキングの部ができたので、完歩目指して一生懸命歩きます。



親子で出場された
左・久保田 泉さん
中・久保田 結陽さん (奈良県)
右・久保田 想来さん

以前、敦賀に住んでいたときに参加して以来となります。子どもたちと一緒に走ろうと思い、参加を決めました。
疲れたけど、楽しく走ることができました。



1.5km小学生男子の部、3km中学生男子の部で入賞した
左・大野 蒼来さん(中寺)
中・大同 陸斗さん(木野)
右・大同 悠生さん

入賞はしましたが、タイム的に満足いく結果ではなかったです。1位になれなくて残念でした。来年こそは、優勝できるように頑張ります。

美浜町地域防災計画を見直しました

平成30年に発生した福井豪雪や県内の原子力施設の状況等を踏まえ、町では「美浜町地域防災計画」の見直しを行いました。今月号では、同計画見直しの概要についてお知らせします。

※お問い合わせ先 町エネルギー政策課 防災・原子力対策室(担当・上光/田村) ☎32-6716

美浜町地域防災計画とは

美浜町地域防災計画は、自然災害や原子力災害の予防、災害応急対策及び災害復旧等の計画的・有効的な実施により、住民の生命・身体・財産の保護や、災害による被害の軽減を目的に町が策定しているものです。同計画は、国や県の防災計画との整合性を図るとともに、近年の災害発生状況を踏まえた対策を講じるために、随時見直しを行っています。

町の計画は「一般災害対策計画」、「震災対策計画」、「原子力災害対策計画」の3つに分かれており、災害の予防や応急対策、復旧等(原子力災害については、事前対策、応急対策、中長期対策)の計画を定めています。なお、同計画については、町のホームページに掲載していますのでご覧ください。



美浜町地域防災計画見直しの概要

●一般災害・震災対策

今回は、国の防災基本計画や県の地域防災計画の見直し及び災害対策基本法の改正に伴う見直しを行いました。

■自主防災組織等整備計画の充実

- ①自主防災組織の防災リーダー育成
自主防災組織を充実させるため、活動の中心的な役割を果たす防災リーダーを育成することを追記しました。
- ②地域団体による防災活動の推進
町内の自主防災組織及び町内に所在する事業所が作成した地区防災計画を、町地域防災計画に位置づけるよう団体から提案を受け、町が必要があると認めるときは、町地域防災計画に地区防災計画を定めることを追記しました。

■平成30年2月豪雪を踏まえた見直し

- ①交通対策の充実
鉄道及びバス事業者に対し「雪害に関する事業継続計画」等の見直し及び除雪用資器材の整備を行うことを追記しました。
- ②農業における雪害予防対策の促進
雪や風に強いハウスの整備、融雪装置やハウスの天井を支える支柱の点検、ビニールの除去等を農業者へ指導することを追記しました。
- ③地域ぐるみによる雪害予防対策の推進
集中的な降雪が予想される場合には、個々の住民による対策のみでなく、企業や事業者においても、事業継続のための体制構築に努めることを追記しました。



↑自主防災組織での訓練の様子

■防災知識普及計画の充実

災害による人的被害を軽減する方策は、住民の避難行動が基本となることを踏まえ、住民に対する啓発活動や分かりやすい情報発信を行うことを追記しました。

また、学校における防災教育指導内容の整理や指導時間の確保等、防災に関する教育の充実に努めることを追記しました。



↑平成30年2月豪雪時の自衛隊による救助風景

●原子力災害対策

今回は、国の原子力災害対策指針と県の地域防災計画(原子力災害対策編)及び福井県広域避難計画の見直しに伴うもののほか、町の防災組織体制の見直しを行いました。

■近隣の原子力施設の運転や廃止措置の状況を踏まえた見直し

①災害対策を実施する地域の範囲の見直し

運転を終了し、国から廃止措置計画の認可を受け、かつ、使用済燃料が十分な期間冷却されたと認められる原子力施設については、災害対策重点区域をおおむね30km圏内から5km圏内に縮小しました。

原子力施設	見直し前	見直し後
美浜発電所1号機、2号機	町内全域(30km圏内)	丹生、竹波、菅浜(5km圏内)
敦賀発電所1号機	町内全域(30km圏内)	町内該当なし(5km圏外)
ふげん	町内全域(30km圏内)	町内該当なし(5km圏外)

②各発電所の緊急事態区分の見直し

各発電所を、稼働している発電所、停止している発電所、運転を終了し廃止措置が行われている発電所、ナトリウム冷却型高速炉(もんじゅ)に分類し、緊急事態を判断するレベル区分を見直しました。

■緊急時対応における事態区分の基準の見直し及び警戒事態の対応を追記



警戒事態(第1段階)の判断をするための地震発生の基準を「福井県で震度6弱以上」から「美浜町、敦賀市、おおい町(発電所立地市町)で震度6弱以上」に変更しました。

また、警戒事態発生時の町内保育園・小中学校の児童生徒の保護者への引き渡し及び一時滞在者(観光客等)への帰宅呼びかけの実施を追記しました。

■地震や大雪等の自然災害発生時における原子力災害対応を追記

避難等の指示が出ている中で、暴風雪や大雪等の特別警報が発令された場合は、安全が確保されるまでは屋内退避を優先することを追記しました。

屋内退避の指示が出ている中で、地震等の自然災害により、緊急の避難が必要となった場合は、町が避難指示を行えることを追記しました。

